

# 「津山中央病院」

Tsuyama Chuo Hospital



## ■地域を支える病院づくりに寄り添う

岡山県北部地域で唯一の3次救急を担う総合病院において、陽子線治療を目的としたがん治療施設の建設と、病棟の再構築及び手術室の拡張による最適化を目指した新病棟の増築工事である。これまで時代に合わせて新築、増築、改修を繰り返し、変化・成長し続けてきた施設群の中で、調和を図りながらも独自性を表現し、治療環境としてのアメニティを意識したエントランスや待合ラウンジをしつらえた。地域に根ざした医療の提供により、人びとの健康面への貢献と共に、地域の活性化を目指した医療環境整備の集大成となるものである。



新病棟・渡り廊下夜景



ラウンジ



北玄関アプローチ



新病棟西面



がん陽子線治療センター

医療ニーズの変化に合わせて地域医療を共創し、

コミュニティの拠点となる病院

## ■ PROJECT DATA

所在地 岡山県津山市  
主要用途 病院  
設計・監理 戸田建設株式会社一級建築士事務所

敷地面積 59,385.23㎡  
建築面積 5,744.75㎡  
延床面積 17,488.04㎡  
階数 地上6階  
構造 RC造一部S造  
竣工 2019年10月

(がん陽子線治療センター)  
建築面積 2,281.56㎡  
延床面積 4,005.65㎡  
階数 地下1階/地上3階  
構造 RC造一部S造  
竣工 2016年2月

## ■ PROJECT MEMBER

PM 護摩堂 淳  
意匠 名原 淳 飯田秀樹 山本恭代  
構造 清水 隆 栗本耕太郎  
設備 黒木富幸 高橋義行 稲泉瞳子 酒井由香里